



平成30年8月7日

各位

会社名 株式会社 プラッツ
代表者名 代表取締役社長 福山 明利
(コード: 7813、東証マザーズ・福証Q-Board)
問合せ先 取締役管理統括部長 近藤 勲
(TEL. 092-584-3434)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成30年8月7日開催の取締役会において、以下のとおり、平成29年8月10日に開示した平成30年6月期（平成29年7月1日～平成30年6月30日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 平成30年6月期 通期連結業績予想の修正（平成29年7月1日～平成30年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想（A）	5,800	225	335	250	67.10
今回修正予想（B）	5,559	132	325	241	64.69
増減額（B-A）	△241	△93	△10	△9	
増減率（%）	△4.1	△41.3	△2.9	△3.6	
（参考）前期連結実績 （平成29年6月期）	5,071	203	428	349	93.72

2. 修正の理由

①売上高の修正について

高齢者施設向けの新規開拓の強化などが奏功し、同市場での売上高は前期比で増加したものの、福祉用具流通市場においては、前期比では伸長したものの販売計画では未達となりました。

このような状況を受けて、売上高につきましては、期初予想値5,800百万円から5,559百万円（期初予想比4.1%減）に下方修正しております。

②営業利益の修正について

当社グループの仕入は主に米ドル建てで部品及び商品の輸入仕入を行っているため、米ドルの為替動向が円安（円高）となった場合、短期的には、円ベースでの売上原価が増加（減少）します。

当連結会計年度における期中平均為替レートは1ドル=110円33銭となり、弊社想定レートと比較して円高水準だったものの、期末決算における棚卸資産の低価法評価損失が予想より多く発生し、売上高総利益率が計画比で悪化したことなどにより、営業利益につきましては、期初予想値225百万円から

132 百万円（期初予想比 41.3%減）に下方修正しております。

③経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の修正について

持分法による投資利益及び為替差益について、期初計画比で増額を見込んでおりますが、前述の営業利益の減少の影響により、経常利益につきましては、期初予想値 335 百万円から 325 百万円（期初予想比 2.9%減）に、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、期初予想値 250 百万円から 241 百万円（同 3.6%減）に下方修正しております。

④その他

平成 29 年 8 月 10 日に開示した平成 30 年 6 月期（平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）の配当予想につきましては、予想を据え置いております。

以上